



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 パシフィックシステム株式会社  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 永史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総合企画部長 (氏名) 小林 和重

TEL 048-845-2200

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,636	△26.0	△55	—	△52	—	△33	—
27年3月期第1四半期	2,211	28.2	△111	—	△108	—	△70	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △14百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△22.71	—
27年3月期第1四半期	△47.73	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,452	3,345	61.4
27年3月期	5,939	3,456	58.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,345百万円 27年3月期 3,456百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,976	△9.8	52	—	49	—	49	—	33.27
通期	8,616	△2.4	393	3.1	397	0.1	254	3.8	171.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	1,480,000 株	27年3月期	1,480,000 株
28年3月期1Q	211 株	27年3月期	211 株
28年3月期1Q	1,479,789 株	27年3月期1Q	1,479,795 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資及び個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済は中国経済を始めとした景気の下振れリスクはあるものの緩やかな回復が続きました。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ソフトウェア投資が緩やかに増加するなど回復傾向が続きました。

このような状況のもと、当社グループは新たに策定した17中期経営計画(2015年度～2017年度)の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売が減少し、1,636百万円(前年同四半期と比べ26.0%の減収)となりました。損益につきましては売上原価の低下により、営業損失55百万円(前年同四半期は営業損失111百万円)、経常損失52百万円(前年同四半期は経常損失108百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失70百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

#### ①機器等販売

売上高は機器販売及びパッケージ販売ともに低下したため、328百万円(前年同四半期と比べ28.9%の減収)となりました。セグメント損益は売上高の減少により、2百万円の利益(同86.9%の減益)となりました。

#### ②ソフトウェア開発

売上高は前期に大型案件の売上があったことにより減収となり、170百万円(同68.1%の減収)となりました。セグメント損益は不採算案件の収束等により売上原価が低下したため、12百万円の利益(前年同四半期は66百万円の損失)となりました。

#### ③システム販売

売上高は生コンプラント向け操作盤が増加しましたがインフラサービスが減少となったこと等により、420百万円(同19.3%の減収)となりました。セグメント損益は売上高の減少により、9百万円の利益(同66.0%の減益)となりました。

#### ④システム運用・管理等

売上高はシステム運用支援等が好調だったため、722百万円(同2.5%の増収)となりました。セグメント損益は売上高の増加及び売上原価の低下により、158百万円の利益(同16.5%の増益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.1%減少し、3,024百万円となりました。これは、主に仕掛品が137百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が672百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、2,428百万円となりました。これは、主に有形固定資産その他に含まれているリース資産(有形)が48百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、5,452百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.3%減少し、1,688百万円となりました。これは、主に未払費用が339百万円増加したものの、買掛金が410百万円、賞与引当金が147百万円、流動負債その他に含まれている未払消費税等が129百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、418百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれている長期前受収益が35百万円、固定負債その他に含まれているリース債務(固)が32百万円増加したものの、固定負債その他に含まれている長期末払金が87百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.1%減少し、2,107百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、3,345百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が18百万円増加したものの、株主配当金の支払が96百万円あったこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失を33百万円計上したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度(平成28年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高8,616百万円、営業利益393百万円、経常利益397百万円、親会社株主に帰属する当期純利益254百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	979,269	906,868
受取手形及び売掛金	1,495,226	822,399
リース投資資産	370,305	433,477
商品及び製品	103,531	96,194
仕掛品	264,019	401,107
原材料及び貯蔵品	29,515	27,276
その他	322,186	337,680
貸倒引当金	△725	△459
流動資産合計	3,563,329	3,024,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	746,632	734,859
土地	532,744	532,744
その他(純額)	357,052	407,007
有形固定資産合計	1,636,429	1,674,611
無形固定資産	233,936	224,027
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	242,835	244,610
その他	265,662	287,537
貸倒引当金	△2,371	△2,382
投資その他の資産合計	506,126	529,765
固定資産合計	2,376,492	2,428,404
資産合計	5,939,821	5,452,949
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	730,942	320,164
1年内返済予定の長期借入金	94,959	73,248
未払費用	210,890	550,572
賞与引当金	284,922	137,850
受注損失引当金	647	1,578
アフターコスト引当金	72,120	35,986
その他	647,065	569,243
流動負債合計	2,041,546	1,688,642
固定負債		
長期借入金	3,294	-
その他	438,838	418,890
固定負債合計	442,132	418,890
負債合計	2,483,678	2,107,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	2,394,530	2,264,736
自己株式	△306	△306
株主資本合計	3,412,045	3,282,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,563	102,866
退職給付に係る調整累計額	△40,466	△39,702
その他の包括利益累計額合計	44,097	63,164
純資産合計	3,456,142	3,345,416
負債純資産合計	5,939,821	5,452,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,211,477	1,636,977
売上原価	1,948,522	1,312,241
売上総利益	262,955	324,736
販売費及び一般管理費	374,645	380,250
営業損失(△)	△111,690	△55,514
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	1,946	2,006
受取手数料	537	538
受取保険料	3,000	286
補助金収入	-	2,565
その他	1,095	567
営業外収益合計	6,598	5,978
営業外費用		
支払利息	1,076	658
売上割引	1,405	1,453
シンジケートローン手数料	698	698
その他	215	132
営業外費用合計	3,396	2,944
経常損失(△)	△108,488	△52,479
特別利益		
投資有価証券売却益	1,200	-
特別利益合計	1,200	-
特別損失		
固定資産除却損	76	1
特別損失合計	76	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,365	△52,481
法人税等	△36,735	△18,873
四半期純損失(△)	△70,630	△33,607
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,630	△33,607

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△70,630	△33,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,524	18,303
退職給付に係る調整額	1,391	764
その他の包括利益合計	7,915	19,067
四半期包括利益	△62,714	△14,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,714	△14,540
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	462,618	529,626	519,986	699,245	2,211,477	—	2,211,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,751	756	5,878	12,386	△12,386	—
計	462,618	535,378	520,742	705,124	2,223,863	△12,386	2,211,477
セグメント利益又は損失(△)	20,677	△66,180	27,376	136,009	117,882	△229,573	△111,690

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△229,573千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	328,949	170,065	416,491	721,471	1,636,977	—	1,636,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	684	3,883	1,239	5,807	△5,807	—
計	328,949	170,749	420,375	722,711	1,642,785	△5,807	1,636,977
セグメント利益又は損失(△)	2,714	12,339	9,321	158,454	182,828	△238,342	△55,514

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△238,342千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。